

さぶりめんと

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療 循環器内科 南都 清範

■腹部大動脈瘤とは？

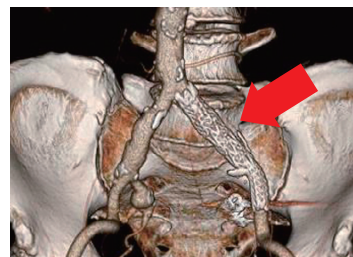
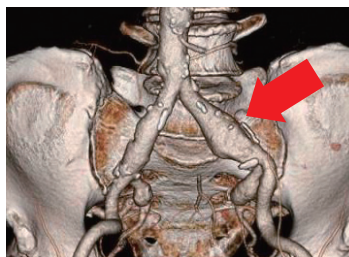
腹部大動脈の血管壁が膨らんできたこぶのことです。原因は動脈硬化であることが多く、ほとんどの場合、破裂するまで自覚症状がありません。(※)ステントグラフトとはステントといわれる筒状の金属を取り付けた特殊な人工血管のこと

■全身麻酔不要!! お腹を開けずにブロック麻酔で治療できます。

血管の太さが50mmを超える腹部大動脈瘤は、年間推定破裂率が3～15%とされています。一度破裂すると、その死亡率は大変高く、**破裂する前の治療が重要**となります。当院では、腹部大動脈瘤に対する非侵襲的な治療法として、ステントグラフト(※)内挿術を積極的に取り入れております。治療に際しては、術前に大腿神経ブロック麻酔(写真)を行うことで、術中は局所麻酔のみで治療が可能です。開腹手術とは異なり、**全身麻酔に耐えられないご高齢の方や、心疾患・肺疾患など他の病気をお持ちの方にも治療可能です。**



ブロック麻酔中の様子



CT画像 左：治療前(こぶができています) 右：治療後(ステントが入り血管が守られています)



腸骨動脈瘤治療体験談

実際にステントグラフト治療を受けられた患者様にお話を聞かせていただきました。

片側5cmの傷で
治療可能です!!

1, 腹部大動脈瘤との診断を受けていかがでしたか？

自覚症状が全くないので、病名を聞いても自分の身体に悪いところがあるとは思えず、漠然とした不安な気持ちになりました。

2, ステントグラフト術に至る経緯はどうでしたか？

動脈瘤の手術として、開腹術とステントグラフト内挿術の二通りの手術方法の説明を受けた時、これまでテレビなどで「カテーテルで行う傷口の小さな手術」の話なども聞いていたこともあり、ステントグラフト内挿術のほうが身体にも楽だろうと思い選びました。

3, 入院後はいかがでしたか？

手術前日に入院し、再度治療説明を受けました。全身麻酔とは違いブロック麻酔なので、身体への負担も少なく気持ちの面にも余裕が持てました。

4, 手術当日はいかがでしたか？

局所麻酔での手術なので、先生や看護師さんに声を掛けて頂きながら、あまり不安もなく治療を受けることが出来ました。

5, 術後の痛みはどうでしたか？

手術直後からベッドの上では自由に過ごせ、翌日からは歩くこともできました。術後の痛みはほとんどなく、約1週間で退院できました。

6, 今はどんなお気持ちですか？

いつ破裂するかわからないという不安がなくなり、今は本当に安堵しています。

7, これからステントグラフト治療を検討されている方にひとことお願いします。

手術時間も短く、術後の回復も早いので、同じように動脈瘤をお持ちの方に是非お勧めしたいですね。

関西ろうさい病院の理念 ●●良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



イメージキャラクター
がれろっこ